

「避難に関する情報」

7月の九州北部豪雨で甚大な被害が発生しました。

小国町でも避難準備情報や避難勧告が発令されました。

今後、このような事態になった時に皆さんはどのような行動をとればいいのかを

お知らせするために、今後数回、避難情報についてお知らせします。

今回は避難情報の基準や用語などの説明です。

災害時に、町長が町民のみなさんに

「避難準備情報」、「避難勧告」、「避難指示」を

発令する場合があります。

これらの違いをあらかじめ理解しておくことが

「自らの身を守る」ことにつながり、

自らの判断で早めに避難することも重要です。



拘束力

弱

強

避難準備情報

災害時要援護者避難

避難勧告

避難指示

「避難準備情報」

(災害時要援護者避難)

発令時の状況

災害時要援護者等、特に避難行動に時間を要する者が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況

「避難勧告」

発令時の状況

通常の避難行動ができる者が避難を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況

「避難指示」

発令時の状況

- ・前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況
- ・河川の隣接地等、地域の特性等から人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況
- ・人的被害の発生した状況



災害時要援護者とは？

特に、避難などに時間を要する人たちを言います。具体的には、介護等が必要な高齢者や妊産婦、乳幼児、障がい者、難病患者の方たちです。

台風(風水害)

台風・風水害に備えましょう！



台風により小国町では過去にも甚大な被害を受けています。台風は、突然襲ってくる地震とは違い、事前に来襲時期や規模などの情報を得ることができます。テレビやラジオ、防災行政無線などからの情報には十分注意してください。強風が吹き出してからの対策や避難はかえって危険です。接近が予想される場合、早めの備えをしておきましょう。気象庁などでは台風の規模を大きさと強さで次のように表現します。



●台風の大きさと階級分け

階 級	風速15m(毎秒)以上の半径
大型(大きい)	500km以上～800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

●台風の強さと階級分け

階 級	最大風速(毎秒)
強 い	33m以上～44m未満
非常に強い	44m以上～54m未満
猛烈な	54m以上

●風の強さと想定される被害

平均風速(毎秒)	予報用語	想定される被害
10m以上～15m未満	やや強い風	風に向かって歩きにくくなる。不完全な取り付けの看板やトタン板などが飛び始める。
15m以上～20m未満	強い風	風に向かって歩けない。転倒する人が出る。ビニールハウスが壊れ始める。
20m以上～25m未満	非常に強い風 (暴風)	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。
25m以上～30m未満		立ってられない。屋外での行動は非常に危険。樹木が根こそぎ倒れ始める。
30m以上～	猛烈な風	屋根が飛ばされる。住宅等の倒壊が始まる。

●雨の強さと想定される被害

1時間の雨量	予報用語	想定される被害
10mm以上～20mm未満	やや強い雨	地面からの跳ね返りで足元が濡れる。長く降り続くときは注意が必要。
20mm以上～30mm未満	強い雨	傘をさしていても濡れる。側溝や小さな河川があふれ、小規模ながけ崩れが起きる。
30mm以上～50mm未満	激しい雨	道路が川のようなになる。山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難準備が必要。
50mm以上～80mm未満	非常に激しい雨	水しぶきで視界が悪くなる。土石流が起こりやすくなる。
80mm以上～	猛烈な雨	大規模な災害が発生する恐れが強い。厳重な警戒が必要。



**動きやすく
安全な服装で**

ヘルメット防災ずきんで
頭を保護。靴はひもで締
められる運動靴に。
はだし・長靴は厳禁。

深さに注意

歩行可能な水深は、約
50cm。水の流れが速
ければ、20cm程度で
も要注意。無理せず、
高所で救助を待つ。

**風水害からの
避難の注意点**

足元に注意

水面下には側溝や穴
ほげなどの危険がある
ので、長い棒などで確
認する。

**隣近所で声を掛け合い
集団で避難する**

単独行動はしない。はぐれ
ないようにお互いの身体を
ロープなどで結ぶ。



**災害時要援護者の
安全を確保**

高齢者や乳幼児などは背
中に背負い、子どもには浮
き袋をつける。

土砂災害(種類と前兆)



今回は土砂災害の種類と前兆について説明をします。

小国町は山間部で急峻な地形の中に、集落が点在しています。そのため、長雨や大雨などで土砂災害が発生する恐れも高い地域といえます。土砂災害が発生すると大きな被害を引き起こすこともあります。次のような現象を察知したら、早めに避難し、役場などに通報しましょう。

がけ崩れ

雨でやわらかくなった斜面が急激に崩れ落ちる。最も多い土砂災害です。

こんな前兆に注意

- 崖からの水がにごる
- 地下水や湧水が止まる
- 斜面のひび割れが発生
- 小石が落ちてくる
- 崖から異常な音がする
- 異様なにおいがする

土砂流

山腹や溪流の土砂が一気に下流へ押し流される。破壊力が大きい。

こんな前兆に注意

- 近くで山崩れが発生
- 立木の裂ける音がする
- 岩の流れる音がする
- 山鳴りがする
- 川の水量が減少する
- 川が濁ったり、流木が混ざ

地すべり

斜面の一部が地下水などの影響でゆっくりと滑り落ちる。被害は広範囲に及ぶ。

こんな前兆に注意

- 地鳴り、家鳴りがする
- 根の切れる音がする
- 地面が振動する
- 地面にひび割れができる
- 井戸や沢の水がにごる
- 崖や斜面から水が噴き出す

火 災 予 防

今回は、火災予防対策について説明します。
11月9日から15日までの一週間、秋季全国火災予防運動です。寒くなり家庭でも火気を使うことが多くなります。あらためて日常の生活を振り返り、日ごろから火災の予防を心がけましょう。

◆主な出火原因別防火のポイントは、右の5つ

◇寝る前には火の元を確認しましょう!◇

◆初期消火の3原則

①通報

大きな声で「火事だ!」と叫び、隣近所に知らせる。
声が出ない時は音の出るものをたたいて知らせる。
小さな火で必ず119番に通報する。

②初期消火

備え付けの消火器のほか、水や座布団など身近のものを活用して消火する。

③避難

火が天井に届いてしまったら、まよわず避難する。
避難する時は燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を遮断する。

①たばこ

- 寝たばこは絶対しない
- 大きめの灰皿を使い、水を入れておく
- 吸殻はくずかごに捨てず、水をかけて生ごみと一緒に捨てる



②電気類

- コンセントやプラグにホコリをためない
- たこ足配線しない
- コードの上に重いものを置かない



③火遊び

- ライターやマッチを子どもの手の届く場所に置かない
- 子どもだけを残して外出しない
- 花火をする時は、大人と一緒に



④暖房機

- 近くで洗濯物を乾かさない
- 周囲に燃えやすいものを置かない
- 完全に火が消えたことを確認する



⑤コンロ

- 料理中にその場を離れない(天ぷら油は約360℃になると自動発火します)
- 周囲に燃えやすいものを置かない
- 着衣への引火に注意する



防災豆知識 「防災情報」について

NO.6

今回は防災情報の入手方法について説明をします。

3月に開催した小国町防災講演会でも、防災情報を自らが収集することが危機管理意識の向上に繋がります、いざという時の行動に役立つという話がありました。防災情報は、国、県、気象庁、町などが様々な方法で情報発信しています。梅雨時期を前に、是非、次の情報から自分に合った防災情報を探して、ご活用ください。

▶インターネットからの情報入手

小国町ホームページ(<http://www.aso-oguni.com>)の防災情報から、次の団体情報をご利用いただけます。

団 体 名	入手できる主な情報
小 国 町	現在の河川水位（町内5か所）
気 象 庁	気象情報・土砂災害警戒情報・台風情報・地震情報・天気予報など
熊 本 県 (統合型防災情報システム)	県内の気象情報・雨量情報・河川水位情報・土砂災害危険度情報など
国土交通省 (川の防災情報)	阿蘇地方の雨量情報・河川水位情報など
九州電力(株)	災害時の停電戸数や、復旧見込みなどを確認できます。



小国町ホームページに、防災情報があります
<http://www.aso-oguni.com/bousai/bousai.html>



小国町の河川水位が
表示されています。
災害に備え、データ
収集に役立ちますの
でご利用ください。

▶携帯電話・パソコン（メールサービス）からの情報入手

登録をすると必要な情報が受信できます。

団 体 名	入手できる主な情報	登録アドレス
熊本県 (防災情報メール サービス)	気象情報（警報）・土砂災害情報・地震 情報・避難勧告等の情報・国民保護情報・ 危機管理情報など ※地域や情報を選択できます。 ※登録や情報料は無料です。	entry@anshin.pref.kumamoto.jp
熊本県 (安心安全メール)	防犯・気象情報・台風情報・地震情報など ※登録料は無料、情報料は2円程度/回 です。	k110@ansin.police.pref.kumamoto.jp

その他、テレビ（NHK・民法）、ラジオ（FM・AM）などもご利用ください。

また、小国町では緊急時の場合に、防災行政無線（屋外トランペット放送）や個別端末器（白ラジオ）、CATV（おぐちゃん）、コミュニティFM（FMおぐに）、緊急速報メール、J-ALERTなどの防災情報伝達手段を利用して情報を発信しています。